

都市環境委員会行政視察報告書

| | |
|---|---|
| 報告者名 | 委員長 末下 広幸 |
| 視察日 | ① 令和6年4月25日(木)～② 令和6年4月26日(金) |
| 視察場所 | ① 福岡県宗像市 / ② 山口県周南市 |
| 参加者 | 末下 広幸(委員長)、飯阪 光典(副委員長)、服部 敏男、 小林 昌子、松本 利裕、浜田 千秋、大浦 まさし、坂本 健治 (随行者:事務局 内田 有咲、西垣 聡) |
| 視察項目 | ①道の駅むなかたの運営について ②コンパクト・プラス・ネットワークの推進について |
| 所 感 | |
| <p>① 4月25日(木) 福岡県宗像市 ～道の駅むなかたの運営について～</p> <p>● 宗像市の概要 (令和6年3月末時点) 人口 96,954人 世帯数 44,528世帯 面積 119.94km²</p> <p>● 視察内容 <施設の概要> 福岡県で10番目に開設した道の駅。 日本の白砂青松100選にも選ばれた、樹齢200年以上の黒松が5kmにわたって続く「さつき松原」と隣接で、そばを流れる釣川河口からは玄界灘が一望できる。平成29年にユネスコ世界文化遺産に登録された「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の一つである宗像大社が近くにある。</p> <p><内容> 平成29年度に国土交通省の定める地域交通拠点部門モデルに選定され、リニューアル後、売上げが倍増し全国的にも注目を浴びている道の駅であるとのことで、その運営方法等についてご教授いただいた。 運営会社は、株式会社 道の駅むなかた。(平成27年4月1日社名変更)</p> <p>事業目的は、1. 農林水産物の加工及び販売、2. 花卉の栽培及び販売、3. 食料品、酒類、土産品及び一般日用雑貨の販売、4. 地元特産物の開発及び販売、5. レストラン、飲食店経営、6. 催事、各種公演事業の企画、運営、7. 観光宣伝、案内及び広告業、8. 自転車の貸し出し業務、9. 不動産の賃貸及び管理業務、</p> | |



10. 国及び公共団体から委託された公共施設の管理運営、11. 農林水産業の振興及び地域産業の活性化に寄与する業務ほか。

出品物の審査基準については、農産物は、農業により宗像市または福津市において生産されたもの。水産物は、漁業により宗像市または福津市において水揚げされたもの。加工品については、①宗像市または福津市において製造・加工されたもの、②宗像市または福津市において生産等された原材料の大部分を用いて製造・加工されたもの。(①の原材料の生産地は問わない) 工芸品は、宗像市または福津市において工作されたもの。

また、「出品資格審査委員会」を設置し、出品資格審査基準に基づき出品者の決定を行っている。審査における優先事項は、同一品目においては宗像市民による出品物であること(宗像市>福津市)、農産品においては無農薬(減農薬)、有機栽培により生産されたものであること、宗像市の特産物を原材料とした加工品(お土産等を含む)であること、福岡県減農薬・減化学肥料栽培認証制度(エコ農産物)における認定者であること。

<課題と対策>

利用者の動向として、利用者を地域別にみると、宗像市内からの利用者が約2割強と少ない。観光地としてのイメージが強いこと、また日用品等を販売していないことが要因かと考えているとのこと。

また、年齢別にみると、60代及び70代以上の利用者が約5割強と多くなっている。



道の駅としては、家族連れ等の若い世代の利用者を増やしていきたいと考えており、そのために、プライベートブランド商品やスイーツなどの開発、SNS(YouTubeやLINE)の活用、キャッシュレス決済の導入、家族連れを対象としたイベントの実施など、さまざまな取組を行っているとのことであった。

<まとめ>

「道の駅むなかた」の取組についてご教授いただき、3か年プランでの見える化や、利用者へのアンケート調査を実施したうえで、販売方法の工夫やイベント開催、SNSの活用等、集客への努力をして販路を拡大していることがわかった。本市においても、「道の駅むなかた」を参考にして、「道の駅いずみ山愛の里」が今後様々な取組を行うことで、知名度アップ、またさらなる集客をめざしていきたい。

ありがとうございました。

② 4月26日（金） 山口県周南市

～コンパクト・プラス・ネットワークの推進について～

● 周南市の概要

（令和6年3月末時点）

人口 135,315人
世帯数 67,625世帯
面積 656.29km²



● 視察内容

コンパクトなまちづくりを進める市町村の取組を省庁横断的に支援するために国が設置した「コンパクトシティ形成支援チーム」において、コンパ

クトなまちづくりの優れた取組を横展開していくことを目的に「モデル都市」を選定・公表しており、第1弾のモデル都市に周南市が選定されている。コンパクトなまちづくりに向けた住民説明会なども開かれており、その推進内容等をご教授いただいた。

◎まちづくりの発展

- ・ 戦災復興土地区画整理事業等による市街地の整備
- ・ 山陽新幹線、山陽自動車道等の交通網の整備
- ・ 臨海部に石油化学コンビナートを中心とした工業の集積

◎公共施設の統廃合

- ・ 市役所を中心市街地に維持して建て替え、分散していた7つの庁舎を集約・統合
- ・ 市民交流施設、飲食店を併設

⇒施設維持管理費を約3割（年間約4,000万円）削減

◎地域資源を活用した都市機能の誘導

- ・ コンビナート（株）トクヤマが発電する安価で安定した電気を特定の施設（市役所、賑わい交流施設、民間事業所等）に供給して、都市機能を誘導
 - ・ 安価で安定した電気を強みとして民間事業者を呼び込み、都市機能の立地を促進
- ⇒供給先の公共施設電気料金を約3割（年間3,000万円）削減
- ⇒エネルギーの地産地消（市外の電力会社からの電力購入が不要）により、地域で約7,000万円が循環

◎拠点性の強化と魅力の創出

・新幹線と山陽本線、岩徳線、路線バス、航路が結節する徳山駅周辺について、統一したコンセプトのもと、南北自由通路、橋上駅舎、賑わい交流施設、駅前広場を整備

・TSUTAYA等を運営するCCC（カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社）が賑わい交流施設等の指定管理者となり、ブック&カフェと一体の民間活力導入図書館等を運営して、民間のノウハウを活かしたサービス向上と集客を図る

・老朽化してニーズに合わなくなった徳山動物園（博物館相当施設）を、新たな展示手法、環境学習等の導入により、継続的にリニューアルし機能を向上

◎空きビル等を活用した都市機能の誘導

・不足業種の店舗の立地、アメニティの向上を目的として、まちづくり会社が出資する民間事業者が、市内に本店がある西京銀行と連携し、銀行から事業地の斡旋、銀行が設立したファンドの出資を受け、若い女性をターゲットにした複合商業施設を整備

・まちづくり会社が徳山駅近くの空きビルをリノベーションして、商業、交流等の都市機能を誘導

・空き店舗に福祉機能（デイサービス）が立地

⇒これらの民間活力や地域資源を活用した多様な都市機能の誘導により
年間約40万人の入込数増加が見込める



【まとめ】

周南市の「コンパクト・プラス・ネットワーク」の先進事例を学ばせていただき、本市でも、「トカイナカ」を有効に活用し、和泉市独自の手法でネットワークを活かしていきたい。

ありがとうございました。